

大阪・京都からのアクセス(電車・バス)

所要時間
約80分

JR大阪駅

JR環状線

JR
京橋駅

JR学研都市線

JR
三山木駅

奈良交通バス

奈良交通バス
同志社山手西

所要時間
約50分

近鉄京都駅

近鉄京都線

近鉄
三山木駅

奈良交通バス

【お問い合わせ先】

京都府商工労働観光部 文化学術研究都市推進課 景観・整備係
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

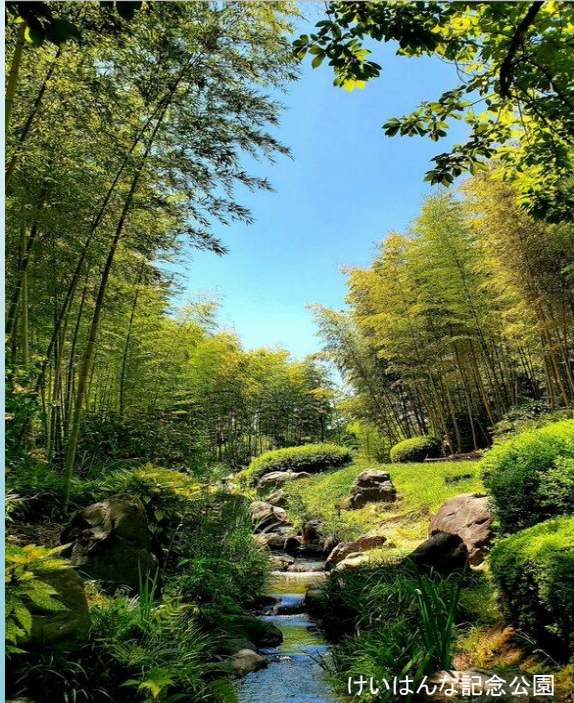
TEL 075-414-5196 E-mail: bunkaga@pref.kyoto.lg.jp





南田辺西地区 (京都府京田辺市)

世界トップレベルのフードテック関連企業の集積
拠点を目指し、令和6年度、開発事業へ着手



けいはんな記念公園



精華大通り(京都府相楽郡精華町)



サントリーワールドリサーチセンター



京奈和
自動車道

精華下狛IC ↓

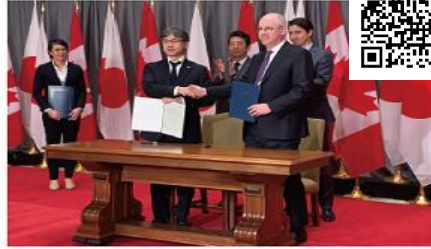
南田辺西地区

南田辺
北地区

けいはんな学研都市とは

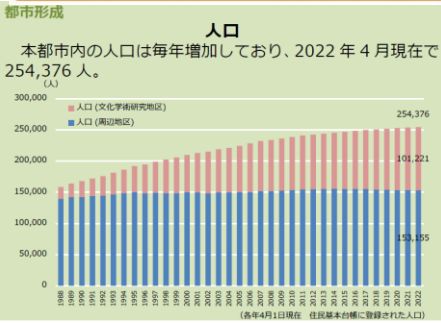
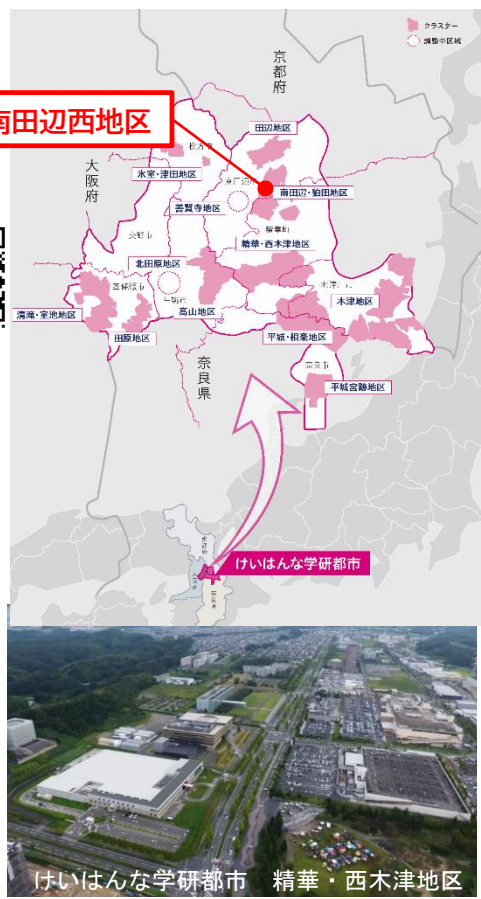
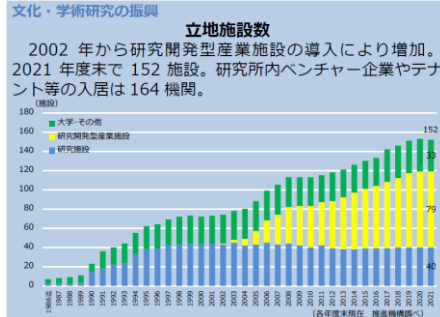
けいはんな学研都市は、京都、大阪、奈良の三府県にまたがり、筑波研究学園都市と並び国家プロジェクトに位置付けされたサイエンスシティです。国内外の機関との連携、イノベーション推進等により成長を続けています。

◎本都市の概要を動画でご紹介しています。是非ご覧ください⇒



【けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会】

グローバルネットワークを形成。国内外約400の機関と連携・協力協定を締結



南田辺西地区について

南田辺西地区(面積 約60ha、現況 山林、地権者:京都府)は、けいはんな学研都市の事業クラスターの一つである南田辺・粕田地区の中央部に位置しています。今後、民間事業者による開発事業(用地造成)を予定しています。

南田辺西地区の7つの特徴・強み

- 大阪、京都、奈良に近接**
当地区まで10~30km圏内
- 交通アクセスが良好**
鉄道駅へ2.5km、新名神へ10km
- 安定した雇用の確保が可能**
周辺には約25万人が居住
- 恵まれた研究、操業環境**
自然豊かで高速・幹線道路に近い
- 地震・水害等の災害に強い**
安定した洪積台地上に位置
- 薫り高い文化・豊かな歴史**
京都・奈良の交流の要衝、歴史資源
- 大学、研究機関等との連携**
理工系の大学、研究機関等が近接



<参考:R4.7時点 周辺各地区の状況等>

南田辺北地区	整備済、居住人口約4,600人	粕田西地区	約85ha、R6年度~整備予定
南田辺東地区	約35ha、今後整備予定	粕田東地区	約50ha、R3年度~整備中

南田辺西地区の開発計画の概要

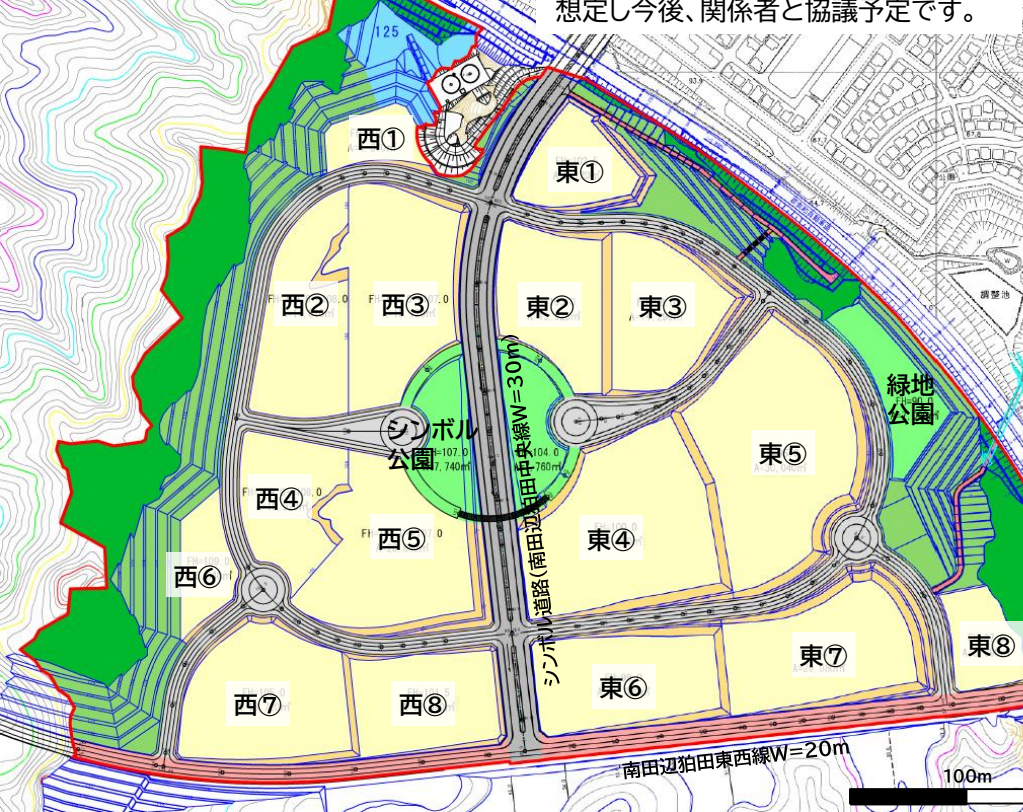
京都府では本地区を中心に「食」に関連した企業や研究開発機関が立地し、本地区周辺の大学や企業等と連携しながら京都の食文化の力や京のブランド食材の特徴・優位性を活かした、生産から食品開発まで一環した研究開発プロジェクトを行う世界トップレベルのフードテック関連企業の集積拠点の形成を目指していきます。

<本地区周辺に立地する食関連大学>



土地利用計画イメージ(今後詳細検討予定)

土地利用は全て産業系(準工、工業)を想定し今後、関係者と協議予定です。



画地	面積
東①	9,120㎡(2,764坪)
東②	13,920㎡(4,218坪)
東③	14,290㎡(4,330坪)
東④	26,900㎡(8,152坪)
東⑤	30,040㎡(9,103坪)
東⑥	16,020㎡(4,855坪)
東⑦	20,080㎡(6,085坪)
東⑧	5,890㎡(1,785坪)
西①	4,370㎡(1,324坪)
西②	14,810㎡(4,488坪)
西③	19,120㎡(5,794坪)
西④	10,920㎡(3,309坪)
西⑤	20,840㎡(6,315坪)
西⑥	5,340㎡(1,618坪)
西⑦	18,720㎡(5,673坪)
西⑧	12,590㎡(3,815坪)

この画地割は検討中の計画であり今後、進出を検討される企業様のご希望を踏まえて変更する予定です。

スケジュール

令和4～6年度
事業準備(調査・設計等)

令和6年度
事業着手

令和9年度から順次
土地の引渡しを開始予定

企業立地優遇制度

京都府への企業立地をサポートする優遇制度(補助金、税特例措置、融資)を設けております。京都府内での事業展開に是非ご活用ください。◎優遇制度の詳細はこちらでご確認ください。⇒

